

実業団等招待選手 [男子]

設楽 悠太 23
SHITARA Yuta
西鉄
2024 全日本実業団ハーフマラソン
1時間01分58秒
2022 大阪マラソン
2時間13分19秒

小椋 裕介 26
OGURA Yusuke
ヤクルト
2022 上尾ハーフマラソン
2位/1時間48分48秒
2021 びわ湖毎日マラソン
5位/2時間06分51秒

下田 裕太 29
SHIMODA Yuta
GMO インターネットグループ
2020 東京マラソン
2位/1時間07分27秒
2020 香川丸亀国際ハーフマラソン
1時間01分52秒

前田 将太 32
MAEDA Shota
ロジスティード
2024 全日本実業団ハーフマラソン
1時間01分44秒
2021 A王子ロングディスタンス (10000m)
4組1位/28分05秒62

長田 駿佑 35
NAGATA Shunsuke
SUBARU
2023 全日本実業団ハーフマラソン
1時間02分13秒

パトリック・ワンブイ 22
PATRICK Wambui
NTT 西日本
2021 全日本実業団ハーフマラソン
1位/1時間00分12秒
2020 香川丸亀国際ハーフマラソン
9位/1時間01分03秒

村山 謙太 25
MURAYAMA Kenta
旭化成
2024 大阪マラソン
2時間09分00秒
2022 大阪ハーフマラソン
6位/1時間01分45秒

木村 慎 28
KIMURA Shin
Honda
2024 東京マラソン
2時間07分34秒
2024 全日本実業団ハーフマラソン
1時間01分08秒

名取 燎太 31
NATORI Ryota
コニカミノルタ
2023 青梅マラソン (30km)
1位/1時間31分57秒
2023 大阪ハーフマラソン
6位/1時間01分55秒

井上 亮真 34
INOUE Ryoma
中電工
2024 香川丸亀国際ハーフマラソン
1時間02分14秒
2023 全日本実業団ハーフマラソン
1時間02分07秒

秋山 清仁 37
AKIYAMA Kiyohito
愛知製鋼
2022 大阪ハーフマラソン
2位/1時間01分23秒
2022 福岡国際マラソン
7位(日本人1位)/2時間08分43秒

ベナード・キメリ 21
BENARD Kimeli
富士通
2024 東京マラソン
2時間08分34秒
2019 Sportsismo プラハハーフマラソン
1位/59分07秒

西山 和弥 24
NISHIYAMA Kazuya
トヨタ自動車
2023 大阪マラソン
6位/2時間06分45秒
2022 全日本実業団ハーフマラソン
5位/1時間00分41秒

上門 大祐 27
UEKADO Daisuke
大塚製薬
2021 福岡国際マラソン
6位/2時間08分56秒
2021 札幌チャレンジャーハーフマラソン
4位/1時間01分49秒

金子 晃裕 30
KANeko Akihiro
コモディイイダ
2024 大阪ハーフマラソン
1時間01秒54秒
2022 大阪マラソン
2時間11分39秒

熊橋 弘将 33
KUMAHASHI Hiromasa
山陽特殊製鋼
2024 全日本実業団ハーフマラソン
1時間02分14秒
2023 東京マラソン
2時間11分24秒

河村 悠 36
KAWAMURA Haruka
自衛隊体育学校
2023 防府競売マラソン
7位/2時間10分57秒
2020 東京箱根間往復大学駅伝予選会(ハーフ)
1時間02分39秒



小山 直城 KOYAMA Naoki 2
Honda
1996年5月12日生 (28歳)

埼玉県出身。松山高3年時の全国都道府県対抗男子駅伝で4区区間賞に輝く。東京農業大学ではチームとして箱根駅伝に出場できなかったものの2年時に関東学生連合の一員として4区に出場。現所属ではニューイヤー駅伝で頭角を現し2022年に3区で9人抜きを演じて初優勝に貢献。初マラソンとなった2022年東京マラソンでは2時間08分59秒の好タイムを記録。4回目のマラソン出場となった2023ゴールドラソンでは、2時間07分40秒の自己新で初優勝を果たす。同年の10月開催されたパリ五輪マラソン代表選考会マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)では、強い雨が降る悪天候の中、終始冷静にレースを展開し、勝負どころの39km地点でスパートをかけ2時間08分57秒のタイムで見事に優勝。パリ五輪への出場権を獲得する。今年2月の大阪マラソンでは2時間06分33秒のタイムで3位に入り、自己ベストを1分以上も更新し好調を維持。今回3度目の出場となる都の都でのレースは、記念すべきハーフマラソンでもあり、世界につながる走りへ期待。

自己最高記録
5000m : 13分38秒81(2020ホクレンDC千歳)
10000m : 27分55秒16(2021ホクレンDC深川)
ハーフマラソン : 1時間01分08秒(2020全日本実業団ハーフマラソン)
マラソン : 2時間06分33秒(2024大阪マラソン)

主な戦績
2024大阪マラソン/3位 / 2時間06分33秒
2023マラソングランドチャンピオンシップ/1位 / 2時間08分57秒
2023ゴールドコーストマラソン/1位 / 2時間07分40秒

女子特別招待
前田 穂南 MAEDA Honami 202
天満屋
1996年7月17日生 (27歳)

兵庫県出身。大阪薫英女学院高校3年時に1500mでインターハイ大阪府大会を大会新記録で優勝。現所属では、ロードレースで頭角を現し、2度目のマラソン挑戦となった2017北海道マラソンで2時間28分48秒のタイムで見事に優勝。2018大阪国際女子マラソンでは、2時間23分48秒で2位となり自己ベストを5分更新。2019マラソングランドチャンピオンシップでは、圧巻の走りで見事に4分近い大差をつけ2時間25分15秒で優勝。東京五輪代表の座を射止める。東京五輪後は、ケガに苦しむも、2024大阪国際女子マラソンでは中盤から積極的に仕掛ける走りを見せ2時間18分59秒のタイムで2位(日本人1位)に入り、日本記録を19年ぶりに更新し、2大会連続の五輪代表に内定。今回4回目となる都の都でのレースで世界につながる走りへ期待。

自己最高記録
5000m : 15分26秒39 (2022 ホクレンDC千歳)
10000m : 31分34秒94 (2020 ホクレンDC深川)
ハーフマラソン : 1時間08分28秒 (2022函館マラソン)
30km : 1時間38分35秒 (2020青梅マラソン)
マラソン : 2時間18分59秒 (2024大阪国際女子マラソン)

主な戦績
2024大阪国際女子マラソン/2位 / 2時間18分59秒 *アジア・日本最高
2023名古屋ウィメンズマラソン/3位 / 2時間22分32秒
2021東京オリンピック女子マラソン/8位 / 2時間30分13秒
2021大阪国際女子マラソン/1位 / 2時間21分11秒
2020名古屋ウィメンズマラソン/1位 / 2時間20分29秒

車いす特別招待
喜納 翼 KINA Tsubasa 404
琉球スポーツサポート
1990年5月18日 (33歳)

沖縄県うるま市出身。学生時代はバスケットボール選手として日々トレーニングに明け暮れており、中学・高校生のときには沖縄県代表選手に選出された経験がある。大学の時に、トレーニング中の事故で車いす生活に。スポーツからはしばらく離れていたが、大学卒業後、風を切って走る疾走感にひかれて車いす陸上を始める。車いすマラソンで有利な長い腕やハードな練習も音も上げずにやり切れる根気強さを武器に、2019年の大分国際車いすマラソンでは日本記録を樹立。その後も2020年の東京マラソンで1位(大会新記録)、2021年の東京パラリンピックにも出場し7位入賞、2022年の東京マラソンで1位と今後も大いに活躍が期待される選手である。

自己最高記録
マラソン : 1時間35分50秒 (2019大分国際車いすマラソン)

主な戦績
2022東京マラソン/1位 / 1時間40分21秒
2021東京パラリンピック女子マラソン/7位 / 1時間42分33秒
2021大分国際車いすマラソン/1位 / 1時間40分13秒
2020東京マラソン/1位 / 1時間40分00秒 *大会新記録
2019大分国際車いすマラソン/2位 / 1時間35分50秒 *日本新記録

特別招待選手

男子特別招待
川内 優輝 KAWAUCHI Yuki 1
あいおいニッセイ同和損害保険
1987年3月5日生 (37歳)

男子マラソン日本代表として世界陸上に4度(2011年・大邱、2013年・モスクワ、2017年・ロンドン、2019年・ドーハ)出場。ワールドマラソンメジャーズの一つである2018ボストンマラソンにて、日本人として31年ぶりに優勝する等、輝かしい実績を持つ。通算130回目のフルマラソンとなった2024パリ五輪マラソン日本代表選考会マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)では、雨が降りしきる中スタート直後から飛び出し終盤35km過ぎまで独走する魂の走りで4位に食い込み、大いに存在感を示した。MGCの激走からわずか49日後の2023防府競売マラソンでは2時間08分32秒の好タイムで5度目の優勝を飾るなど、好調を維持。今回、通算11回目の出場となる都の都での走りに期待。

自己最高記録
ハーフマラソン : 1時間02分13秒 (2022全日本実業団ハーフマラソン)
マラソン : 2時間07分27秒 (2021びわ湖毎日マラソン)

主な戦績
2023防府競売マラソン/1位 / 2時間08分32秒
2023マラソングランドチャンピオンシップ/4位 / 2時間09分18秒
2023大阪マラソン/12位 / 2時間07分35秒
2021びわ湖毎日マラソン/10位 / 2時間07分27秒
2018ボストンマラソン/1位 / 2時間15分58秒

女子特別招待
欠 場
一山 麻緒 ICHIYAMA Mao 201
資生堂
1997年5月29日生 (26歳)

鹿児島県出身。出水中央高等学校卒業後に名門実業団チームに入部。入社1年目に出走した2016全日本実業団対抗女子駅伝の1区(7km)で21分50秒の区間新記録を樹立し、頭角を現す。初マラソンとなった2019東京マラソンで2時間24分33秒の好タイムで7位入賞。翌年の2020名古屋ウィメンズマラソンで、2時間20分29秒の当時日本歴代5位(女子単独レース/アジア・日本最高)の好タイムでマラソン初優勝を果たし、見事に2020東京五輪への切符を手中に収める。新型コロナの影響で2021年に開催された東京五輪では、女子マラソンで日本人として17年ぶりとなる8位入賞を果たす。2023年10月に開催されたパリ五輪マラソン代表選考会マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)では、冷たい雨が降り続く難しいコンディションの中、見事2位に入り2大会連続の五輪代表に内定。今回2回目となる都の都でのレースで世界につながる走りへ期待。

自己最高記録
5000m : 15分06秒66 (2020 ホクレンDC千歳)
10000m : 31分11秒56 (2021 日本陸上競技選手権大会)
ハーフマラソン : 1時間08分28秒 (2021札幌チャレンジャーハーフマラソン)
マラソン : 2時間20分29秒 (2020名古屋ウィメンズマラソン)

主な戦績
2023マラソングランドチャンピオンシップ/2位 / 2時間24分43秒
2022東京マラソン/6位(日本人1位) / 2時間21分02秒
*鈴木健吾選手(2:05:28)+一山麻緒選手(2:21:02)は合計記録でギネス世界記録認定
2021東京オリンピック女子マラソン/8位 / 2時間30分13秒
2021大阪国際女子マラソン/1位 / 2時間21分11秒
2020名古屋ウィメンズマラソン/1位 / 2時間20分29秒

車いす特別招待
欠 場
副島 正純 SOEJIMA Masazumi 401
ソシオ SOEJIMA
1970年8月31日 (53歳)

長崎県諫早市出身。23歳の時、事故により下半身不随になり車いす生活となった。2014年シーズアスリートを「卒業」し特別サポート選手として活動。大学の時に、トレーニング中の事故で車いす生活に。スポーツからはしばらく離れていたが、大学卒業後、風を切って走る疾走感にひかれて車いす陸上を始める。車いすマラソンで有利な長い腕やハードな練習も音も上げずにやり切れる根気強さを武器に、2019年の大分国際車いすマラソンでは日本記録を樹立。その後も2020年の東京マラソンで1位(大会新記録)、2021年の東京パラリンピックにも出場し7位入賞、2022年の東京マラソンで1位と今後も大いに活躍が期待される選手である。

自己最高記録
マラソン : 1時間18分50秒 (2011ボストンマラソン)

主な戦績
2023東京マラソン/5位 / 1時間30分40秒
2021大分国際車いすマラソン/5位 / 1時間29分23秒
2021東京マラソン/9位 / 1時間33分27秒
2020大分車いすマラソン/5位 / 1時間26分47秒
2019第31回全国車いすマラソン/1位 / 1時間26分39秒 *大会新記録

実業団等招待選手 [女子]



キブケモイ・ジョアン 221
KIPKEMOI Joan
丸電工
2022 ゴールデンゲイズinのべおか (5000m) 5位/15分07秒49
2021 山陽女子ロードレース(ハーフ) 3位/1時間09分38秒



中野 円花 222
NAKANO Madoka
岩谷産業
2024 大阪国際女子マラソン 9位/2時間26分50秒



清田 真央 223
KIYOTA Mao
スズキ
2024 大阪ハーフマラソン 3位/1時間10分56秒
2023 名古屋ウィメンズマラソン 2時間29分20秒



池田 千晴 224
IKEDA Chiharu
日立
2023 マラソンランドチャンピオンシップ 8位/2時間27分14秒
2023 大阪国際女子マラソン 7位/2時間25分59秒



川内 理江 225
KAWAUCHI Rie
大塚製薬
2024 大阪国際女子マラソン 2時間28分28秒
2022 大阪国際女子マラソン 7位/2時間25分35秒



和久 夢来 226
WAKU Mirai
ユニバーサルエンターテインメント
2023 名古屋ウィメンズマラソン 7位/2時間25分58秒



森田 香織 227
MORITA Kaori
パナソニック
2023 東京マラソン 9位/2時間26分31秒
2022 仙台国際ハーフマラソン 6位/1時間14分08秒



中村 優希 228
NAKAMURA Yuki
パナソニック
2023 青梅マラソン(30km) 2位/1時間46分47秒
2023 まつえレディーズハーフマラソン 1位/1時間10分48秒



堀江 美里 229
HORIE Misato
シスメックス
2023 神戸マラソン 1位/2時間33分04秒
2022 大阪マラソン 1位/2時間32分10秒



高橋 舞衣 230
TAKAHASHI Mai
コモディイイダ
2024 愛媛マラソン 6位/2時間50分02秒
2023 日本学生女子ハーフマラソン選手権 1時間17分10秒



古本 紗彩 231
FURUMOTO Saaya
十八親和銀行
2023 山陽女子ロードレース(ハーフ) 1時間14分07秒



和田 有菜 232
WADA Yuna
JP 日本郵政グループ
2023 エディオンDC in 大阪(10000m) A組 3位/32分49秒59



斎藤 凜 233
SAITO Rin
愛知電機
2024 読売犬山ハーフマラソン 1時間26分28秒
2023 仙台国際ハーフマラソン 1時間26分31秒

車いす招待選手



河室 隆一 402
KAWAMURO Ryuichi
ホンダアスリート
2023 第42回大分国際車いすマラソン 1時間35分09秒
2023 仙台国際ハーフマラソン 3位/50分07秒



武村 浩生 403
TAKEMURA Koki
LINE ヤフー株式会社
2023 第42回大分国際車いすマラソン 1時間42分58秒
2022 グランマーズマラソン 7位/1時間28分42秒



大学招待選手 [男子]

51 小松 聖 KOMATSU Hijiri 駒澤大学
2023 世田谷246ハーフマラソン/1時間03分33秒

52 村上 響 MURAKAMI Hibiki 駒澤大学
2023 世田谷246ハーフマラソン/1時間03分42秒

53 嘉数 純平 KAKAZU Jumpei 國學院大学
2023 香川丸亀国際ハーフマラソン/1時間02分18秒

54 吉田 蔵之介 YOSHIDA Kuranosuke 國學院大学
2023 上尾シティハーフマラソン/1時間02分29秒

陸協推薦招待選手 [男子]

61 小笠原 太一 OGASAWARA Taichi 青森陸上競技協会
2023 上尾シティハーフマラソン/1時間05分47秒

62 樋渡 翔太 HIWATASHI Shota 北上市陸上競技協会
2023 一関国際ハーフマラソン/年代別4位/1時間09分27秒

63 土井 健太郎 DOI Kentaro 土崎陸友会
2023 立川シティハーフマラソン/1時間06分05秒

64 小島 翼 OBATA Tsubasa 会津陸上競技協会
2023 日本体育大学長距離競技会(10000m)/29分49秒68

65 萩川 暁 HAGIKAWA Ko 東北学院大学
2023 宮城県陸上競技選手権(10000m)/2位/33分52秒51

久米島マラソン招待選手

71 新本 晃士 ARAMOTO Koji 久米島空港
2020 NAGO ハーフマラソン/1時間17分57秒

271 山本 果歩 YAMAMOTO Kaho
2023 久米島マラソン(ハーフ)/2時間14分49秒



大学招待選手 [女子]

234 鈴木 日菜子 SUZUKI Hinako 大東文化大学
2023 大阪ハーフマラソン/1時間15分52秒

陸協推薦招待選手 [女子]

251 工藤 亜樹子 KUDO Akiko Try Again RC
2023 一関国際ハーフマラソン/年代別2位/1時間21分35秒

252 鈴木 絵里 SUZUKI Eri 秋田陸上競技協会
2024 大阪国際女子マラソン/2時間44分08秒

253 大淵 芽亜里 OBUCHI Meari ユナイテッドアスリート
2023 つくばマラソン/1位/2時間42分17秒

東北学連招待選手 [女子]

261 小野寺 美麗 ONODERA Mirei 石巻専修大学
2023 山陽女子ロードレース(ハーフ)/1時間25分16秒

